



Twitter 開設中！



@jtsue\_yamanashi

2023.8.1 No.2

## 山梨支部第 5 回定期大会

## 「特別決議」を満場一致で採択！

東京都労働委員会の「全部救済命令」をもとに、  
輸送サービス労組に仕掛けられているあらゆる不当労働行為を直ちに止めさせ、  
安全、心の豊かさを取り戻すための特別決議(案)

2023年6月7日、私たち輸送サービス労組八王子地本は歴史的勝利を勝ち取った。「JR 東日本八王子駅パンフ配布処分事件」は東京都労働委員会より私たちの主張を取り入れ、過去の判例をもとに「全部救済命令」を下した。この間法律で定められている過度な職場活動への規制はもとより「社員の皆さんへ」の掲示が組織介入であり、処分を許さないと認めたのだ。法や協約に則った職場活動は保障され、職場規律のみに切り縮めて組合活動の萎縮や団結権を否定する行為そのものが判断された結果となった。しかし、会社は東京都労働委員会の命令を「承服しがたいもの」として履行せず、中央労働委員会へ上申した。そのことから、八地申第20号「東京都労働委員会の下した『全部救済命令』の即時履行と不当労働行為のない正常な職場環境を求める緊急申し入れ」を提出し交渉を行った。会社は「東京都労働委員会命令については、国鉄時代における職場秩序の維持、確立に取り組んできた事情等を全く考慮することなく判断されたものである。そのような見地から中央労働委員会に再審査の申立てを行ったところであり、当該命令が確定しているものではない。確定した段階で適切に対処していく」との回答に終始した。救済命令の有効性があるにも関わらず履行しないということは、会社による度重なる不当労働行為が満天下に晒されることを嫌がり、輸送サービス労組運動の萎縮や組織拡大への介入に他ならない。正しいことを正しいといえる組織に対する破壊行為を絶対に許すことはできない。

会社による組織介入は未だに続いている。耳に障がいのある組合員に対して強制転勤や恣意の中で組合の悪宣伝などパワハラ行為が行われ「あったことをなかったことにはしない」として2023年1月18日、東京都労働委員会へ「JR 東日本八王子支社組合員差別事件」として救済申し立てを行った。5月20日「JR 東日本八王子駅パンフ配布処分事件」「JR 東日本八王子支社組合員差別事件」勝利！あらゆる不当労働行為を許さず、健全な職場を取り戻す総決起集会を開催し、当該組合員から「仲間がいるからたたかえる」「応援はうれしいが証拠をつかまなければ何にもならない」とたたかひの報告を受け、今の会社による組織犯罪を糾すことを意思統一した。職場のたたかひ無くしてこのたたかひに勝利することはできない。組合員と共に不当労働行為を根絶するために職場活動の強化を要請する。

その間も会社はコロナ感染症を利用し、労働条件や安全に対する危機意識が蔑ろにされ、悪化の一途を辿っている。その施策の中心となっているのがジョブローテーション施策である。組合員をはじめ多くの社員が希望していない職場への転勤や心の病に侵され、会社を離職する者もあとを絶たない。会社は「柔軟な働き方、新たな可能性」と言っているが、そのようなことになっていないのが現実である。そして、職場自体が経験豊かな人材がいなくなり、安全に対する考え方やひとを分断し、安全風土が崩壊していることからジョブローテーション施策は即刻辞めるべきである。まさに「人間尊重」をせず、利益追求のみにひた走る会社の姿勢は、企業倒産しかねない結果が待ち受けていることに警鐘を鳴らさなければならない。

結成から3年！私たち輸送サービス労組に対する期待は大きなものになりつつある。結成した意義は「不当労働行為を許さない」「組合員、家族の利益のためにたたかう」ことである。全組合員で結成した意義を再確認し、組織の強化を持ってすべての不当労働行為事件に勝利しよう！そして、連帯する仲間と共に安全風土の確立、心の豊かさを持ち働きがいのある職場を取り戻し、誰からも信頼される健全な JR 東日本グループ会社を創り出そう！

以上決議する。

2023年7月31日  
JR 東日本輸送サービス労働組合  
八王子地方本部 山梨支部  
第 5 回 定期大会

あらゆる支配介入や不当転勤を許さず、  
健全なJR東日本グループ会社を創り  
出していくことを確認!!

「横のつながり」を大切にして、心の豊かさ、

働きがいの持てる職場をつくっていきましょう！

